

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

# F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

【特集】 **経営戦略にデザイン思考を**  
～福井デザインアカデミーで学ぶデザインシンキング～

F-FACT  
前向きに挑戦する福井の企業を応援します

Vol.31

2018年7月25日発行 (奇数月25日発行)

編集発行 **fisc** 公益財団法人ふくい産業支援センター

〒910-0296 福井県坂井市丸岡町南郷3-7-1-16 TEL: 0776-672414

この印刷物は再生紙を使用しています。

# Vol.31

**fisc** 公益財団法人 ふくい産業支援センター

広告

 福邦銀行 ×  T-POINT



## 福邦銀行で 貯まります。

**＼Tポイント対象サービス**  **/**

**新規のお取引で貯まる!!**

給与振込	住宅ローン	フリーローン
口座ご指定で	新規お借入で	新規お借入で
<b>300pt</b>	<b>1,000pt</b>	<b>1万円毎に10pt</b>

**さらに継続のご利用で毎月貯まる!**

給与振込	住宅ローン
毎月のお振込で	ご契約期間中
<b>毎月10pt</b>	<b>毎月50pt</b>

Tポイントを貯めるには、当行HPからの申請が必要です。

新規ポイントの獲得には、ご契約月の翌月10日までにTカード番号の申請を完了してください。  
新規ポイントはお取引ごとにお一人様1回のポイント付与となります。期日までにTカード番号を申請いただけない場合は、新規お取引ポイントの付与対象外となります。  
Tカード番号の申請日からさかのぼってのポイント付与はいたしません。詳しくは、当行Tポイント対象サービスページの「ご留意事項」をご覧ください。

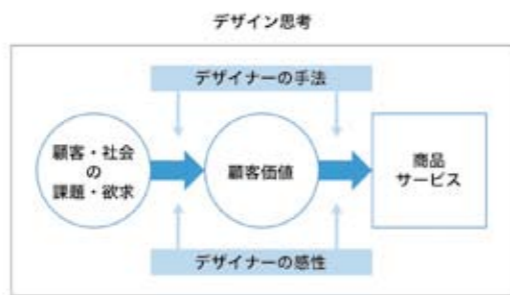
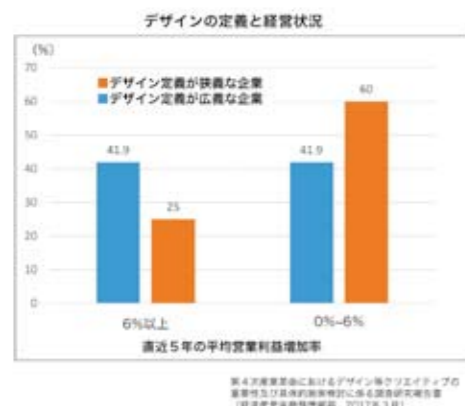
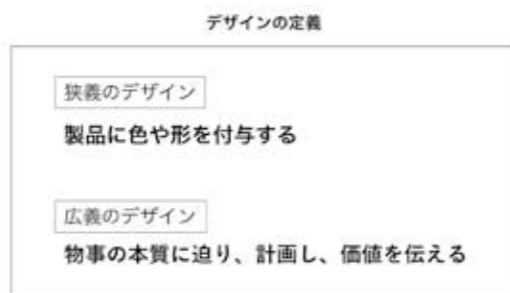
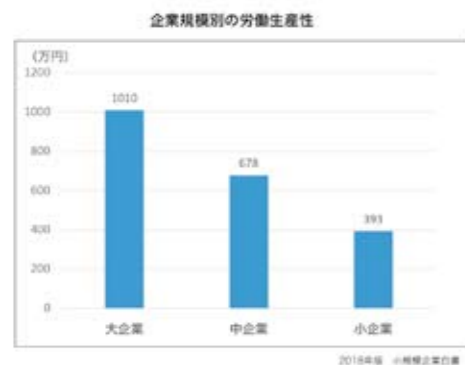
今すぐ申請して  
TポイントをGETしよう!

詳しくはWEBで!  
ふくほう銀行

検索



平成29年10月現在



え方を増える企業が増えてきています。こうした企業を比較すると、企業の成長性でも大きな差が見られるようになります。そんな中、ユニクロ、無印良品など、企業の経営者の

パートナーとして一流のデザイナーが招かれ、過去には無かった斬新なプロジェクトや事業を生み出してニュースになることが増えています。彼ら(デザイナー)は経営者の



執筆者 鷹屋 信隆氏  
デザインアシスト  
マーケティングディレクター

㈱千里生活研究室に入社し、タウンペーパーの企画編集や生活者ネットワークを活用した生活研究業務に携わる。その後、㈱デザインアシストに移籍。コクヨのステーションナリーをはじめ数多くのプロジェクトに携わり、「現場観察」をベースにしたマーケティングリサーチやコンセプトワークを手がける。

# 経営戦略にデザイン思考を

## ～福井デザインアカデミーで学ぶデザインシンキング～

「デザイン手法で、問題解決！」今回で20シーズン目を迎える人気講座『福井デザインアカデミー』(以下、FDA)の2018年度の受講者募集が始まっています。受講者それぞれが実際に抱える課題に対し、全12回の講義と演習を通してデザイン手法を身に付けながら、解決に至るまでのプロセスを体験することができる本講座。毎年、様々な業種の経営者、事業担当者、個人の方々に受講いただき好評です。

もちろん、経営の世界でも注目される「デザイン思考(デザインシンキング)」についても深く知ることのできるFDA。今回の特集では、はじめにFDA専任講師の鷹屋信隆氏からデザイン思考について解説いただき、さらに、FDAでの学びを生かして事業を前進させる県内企業の事例や昨年の講座の様子など、盛りだくさんの内容でFDAの魅力をお届けします。

### 生産性向上へ「イノベーション」

#### 「新しい発想」

最新の労働経済白書の特集は「イノベーションの促進とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた課題」と題され、その冒頭で、日本は1990年代以降経済成長率が低下しているとともに、生産年齢人口が減少局面に入っている中で経済が成長していくためには、労働生産性の向上が不可欠であると訴えています。

現在の日本の労働生産性は、OECD加盟35カ国中18位で、生産性の低さが長年にわたって改善されないことが大きな課題になっているのです。この生産性の低さは、国の経済だけの問題だけでなく、企業レベルでも大きな問題であり、特に大企業と比べて企業規模が小さくなるほど生産性が低くなるという深刻な状況がデータから読みとれます。

生産性を高めるためには「効率の向上」と「付加価値の向上」のいずれか、もしくは両方に取り組みなければなりません。その際、通常は「生

産性「効率性」を優先しがちですが、それ以上に「価値向上」が重要であり、この価値を飛躍的に高める取り組みが、企業の成長戦略の柱となるイノベーションなのです。

イノベーションというと、特に技術志向の強い製造業などにおいては「技術革新」という認識が多いのではないのでしょうか。しかし、技術や知識が成熟化した現状では、技術だけでは持続的なイノベーションは生まれにくくなっており、「今までにない新しい発想」から生まれています。

また、技術中心のイノベーションは、企業のシーズ起点であるのに対し、「新しい発想」「イノベーション」は、顧客・社会の潜在的なニーズを掘り起し、その解決を考えることです。いわばまだ誰も気付いていない顧客・社会のウォンツを発見できる洞察力が重要となるのです。

このように、「イノベーション」「新しい発想」が求められる状況で、企業の「デザイン」に対する考え方や活用方法が大きく変わってきています。

### 広義のデザインとデザインシンキング

一般的に「デザイン」とは、単に色・形を製品に付与することと認識されることが多いですが、英語の「design」という言葉には、色・形を考える以外に「ある役割・目的・効果のために何かを計画する」といった広い意味があります。また、欧米で「デザイン」とは、社会の課題や生活者のニーズに目を向け、その解決策として商品やサービス等を開発し、その価値を伝えていくことであると理解されています。

日本でも、デザインを色や形といった狭義の捉え方ではなく、欧米と同じく広義の捉

### フィールド観察で顧客の本質にアプローチ

最もシンプルに表現すると「人間中心に発想すること」になります。という、「うちの会社も以前から顧客を意識して商品を開発している」という方も多いと思います。確かに、顧客に対してアンケート調査などを行っている企業は多いと思いますが、顧客の本音や表面的に見えてこない本質的な問題にどこまでアプローチできているのでしょうか。

デザイン思考では、顧客の現場に入り込む「フィールド観察」により、顧客がどんな空間で、どんな行動をとるかを詳細に観察し、時にインタビューを交える手法で、「より深く顧客を理解すること」が大きな特徴です。そうすることで、顧客自身も気づいていない本質的な問題点や顧客価値を発見していきます。

シューズメーカーのアクレス(株)は、小学校の運動会で子供たちの足元(走り方、靴の履き方など)を観察。小学校のトラックは、ほぼ左回

### 最後に

デザイン思考は、どんな肩書きの人でも可能な思考法ですが、プロセスとして取り入れれば誰でも確実にイノベーション的なアイデアを出せる魔法の杖ではありません。最も重要なのはプロセスではなく、組織や組織を構成する個人が持っているものの見方や考え方であり、特に経営者がデザインやデザイン思考に対する理解をしていくことが不可欠なのです。

### CONTENTS

- 01 特集 経営戦略にデザイン思考を  
～福井デザインアカデミーで学ぶデザインシンキング～  
・イントロダクション  
デザインアシスト 鷹屋 信隆氏
- ・県内企業事例  
黒龍酒造(株)・株式会社
- ・FDA 受講企業ダイジェスト  
㈱小林大伸堂、㈱出雲記念館、㈱エル・ローズ、  
竹原運輸(株)、㈱カンパネラ、ジュエリー土屋、  
㈱エムティエス
- ・FDA2018 募集案内  
㈱フィッシュバス
- 11 今月の注目企業
- 13 教えて！産総研
- 14 中産大通信 今求められる人材育成
- 15 Start a New Project あこおる(合)、びんぼんぼん
- 16 グッドデザインシンキング
- 18 話題の新スポット巡礼
- 20 インフォメーション 他



県内をはじめとし、様々なイベントに出動している『九頭龍ワゴン』。設営の手間などが省かれ、少人数でのオペレーションが可能になりました。

高松氏に続いてFDAを受講したという出口氏も、グループワークの効用についてこう振り返ります。

「他業種の人たちとのディスカッションでアイデアがより膨らみ、グループで一緒になった他社のことについても深く考える習慣が付いたように感じます。講座修了後も交流が続いているというの大きな収穫です」

高松氏の受講修了から約半年たった昨年7月。福井県西口にある多目的広場ハピテラスでのイベントでデビューを果たした九頭龍ワゴン。『九頭龍』シリーズ3商品を500円以内で楽しめるようにしたほか、酒かすを食べて育った吟醸豚のソーセージなどのつまみも販売しました。

「九頭龍ファンのターゲットとして想定する若い人たちや女性層は、街の酒販店さんに対して『入りづらい』などハードルの高さを感じているのでは。カジュアルな雰囲気ワゴンをきっかけに、『九頭龍』ブランドと当社商品を取り扱う酒販店さんを身近に感じてもらえれば」と高松氏は期待を寄せます。



手作りの模型で海外展示会ブースのイメージを伝える出口氏（左）販売店に向けた情報誌でも『九頭龍ワゴン』の活動をPR（右下）

**学びの成果、社内で共有  
会議や企画の質的向上へ**

ワゴンの実現に当たっては「水野社長のバックアップがあった」とも。

「冗談めかして『ワゴンに電飾も付けちゃえば』とも言われたこともありまして（笑）、『九頭龍』のコンセプトだからこそ新しい挑戦をさせてもらえたのではと、『黒龍』だったらここまででき

なかったと思います」

FDAでの学びを振り返り「2つのブランドの立ち位置や、海外展開に当たって当社がビジュアルで訴えるべきポイントなどが明確になりました」と口を揃える2人。講座で得た知見を課内にフィードバックしたことで、会議で交わされる意見が濃密になり、企画のクオリティが向上するなど、普段の業務にも効果が現れていると満足そうに語ってくださいました。

CASE 1

福井デザインアカデミー

# FDAを新たな販促手法の足掛かりに

## 黒龍酒造株式会社



高松 雄平 氏



出口 敦子 氏

1804年創業の黒龍酒造株式会社は、ブランド再編に当たってのファン作りや、海外展開の強化に向けて福井デザインアカデミー（以下、FDA）を活用しました。FDAでの学びが、キッチンカー『九頭龍ワゴン』の実現、ブース出展のイメージ策定などに生かされたという同社。ワゴンプロジェクトに関わった高松雄平氏（2016年度受講生）、海外出展などを担当する出口敦子氏（2017年度受講生）に話を伺いました。

**黒龍酒造株式会社**  
<http://www.kokuryu.co.jp/>  
 所在地：永平寺町松岡春日1-38（本社）  
 永平寺町松岡兼定島11-58（兼定島酒造りの里）  
 代表者：水野直人氏  
 資本金：1,000万円  
 事業内容：清酒『黒龍』『九頭龍』の製造・販売  
 従業員数：51名  
 電話番号：0776-61-6110（お問い合わせ）

### 1台の販促カーが ワゴン誕生のきっかけに

同社は商品構成を20年以上大きく変えていなかったが2015年、「かたくななまでにこだわり続ける」を掲げる『黒龍』と、「ずつとそばにいる。かけがえのない日々」をうたう『九頭龍』の2ブランドに再編。『九頭龍』を「冷やよし、爛よし」の商品として定着させるとともに、「日々の語らいの酒、もてなしの場に寄り添う地酒」というブランディングの方針を固めました。

認知度向上に向け社内では、CMや新聞広告、商品名にちなんだ九頭龍川でのイベント開催、祭りへの出店などのアイデアが出てきたといいます。しかし同社は以前より、CMや値引きなどによる販促を行わないことをポリシーとしており、高松氏は『九頭龍』においても、地に足をつけた販促活動をするべきではないかという意見でまとまったのです」と振り返ります。

地に足をつけた活動が『九頭龍ワゴン』に結びついたのは、ある日同社を訪れた某エ



ナジードリンクの販促カーがきっかけでした。車のボディを飛び出すほどの缶をあしらった販促カーを見て、『九頭龍』ブランドのコンセプトがそのまま形になったワゴンがあれば！」とひらめいたといいます。

「お客様に来ていただくのではなく、蔵元自らがお客様の元に向かうことで、お酒の提供にあわせて、ブランドの意味や造り手の想いを直接お届けできるので」と高松氏。

こうして課の中でワゴンの基本構想を固めた後、「10年ほど前に先輩社員が一度受講したことがある」というFDAを足掛かりにアイデアを具現化することになりました。

### グループワークを機に 他業種との交流盛んに

FDAのカリキュラムは全12回。社内でも出たアイデアをFDAに持ち込み、グループワークなどを通じてブラッシュアップを重ねました。

「講師の）鷹屋先生からは『ワゴンにそもそも求められているものは何か』とよく問われ、業界の常識や経験に基づく固定観念などをリセットしてもらえました。平田先生はデザインの引き出しが多い方で、ワゴンのデザインや仕様など細部に至るまでさまざまなアドバイスをいただきました」



同社、兼定島酒造りの里



FDA 講師らのアドバイスから生まれた弔事用の商品提案。スペースに難のある都市部の世帯などの需要を見込んでいます。



天然木ならではの美しい木目が魅力の一つです。

「4人1グループで課題に取り組むのですが、他の受講生の方の意見もすぐくためになりました。人とのご縁も、大きな財産です」と微笑む大石氏。

受講後は、『curumi』の試作に奔走。掌におさまる球形と木目のつながりにこだわり、樺の天然木をくり抜くロクロの技術を求めて山中漆器の職人にたどり着きます。「山中と河和田は距離も近い。伝統工芸の産地間交流も、これからの重要な取り組み」と、漆器産業全体のボトムアップも視野に入れます。

商品化にあたっては、景山氏にアドバイスを依頼。F

### 人の縁も大きな財産に 改良を重ね販路を拡大

にあるコンセプトは変わらないうという言葉で一掃されま

その後、景山氏から「胡桃のように種を守り、おくるみのようにやさしく包まれる」というイメージから「くるみ」というネーミング提案を受け、ロゴマークも含めたブランドデザインブックを仕上げました。



全国から寄せられる依頼品を修理する河和田の漆器職人(左)  
パステル調の色あいが人気のプライダル向けの製品(右)



D Aで構築したコンセプトにのつとり、販路拡大を進めま

す。ふくいの逸品創造ファンド事業の助成金を受けると、日本最大のジュエリー展示会「国際宝飾展」に出展。そこで景山氏からプライダルとメモリアルの2つの展示コーナーを提案されたところ、「意外でしたが、メモリアルの方の問い合わせが多かった」と

大石氏。現在、展示会で寄せられた意見をもとに改良を重ね、今年はグッドデザイン賞に応募する予定です。

「FDAで、デザインの重要性を再認識できました。思考と整理のプロセスを学べたので、今後の取り組みに活かしていきたいです」と、将来への期待も語ってくださいました。

## CASE 2

# デザイン思考を、モノづくりに

## 株式会社ヒロセ



大石 恵子 氏



大石 保 氏

1500年の歴史ある越前漆器産地 河和田で、業務用漆器の製造販売を手がける株式会社ヒロセ。8代目にあたる大石恵子氏は、福井デザインアカデミー(以下、FDA)で学んだデザイン思考を生かし、越前漆器小篭『curumi』を開発しました。FDAでの学びと受講後の販路拡大について、夫であり代表取締役社長を務める大石保氏とともに伺いました。

### 株式会社ヒロセ

<https://www.hirosejapan.com/>  
所在地: 鯖江市片山町6-1  
代表者: 大石 保氏  
資本金: 2,000万円  
事業内容: 漆器の製造卸販売、漆器の修理サービス  
従業員数: 5名  
電話番号: 0778-65-0103

### お客さまから喜ばれる モノづくりを目指して

大石氏がFDAを受講したきっかけは、6年前に参加したふくいの産業支援センターのIT研修「プログラムマーケティング道場」まで遡ります。そこでプログラムの楽しさを知った大石氏は、日常と仕事のことを記すブログをスタート。そのなかで漆器修理の問い合わせが増え、修理に特化したサイトを立ち上げます。

「古い漆器を大事にしてくださる温かいお客さまがいることを知ったことが、大きな起点になりました。修理に対応してくださる漆器職人の方と一緒に、お客さまに喜んでもらえるモノづくりができな

われない気持ちのこもったモノづくりを目指し、人生の節目となる大切なシーンで使ってもらえる漆器のいれものを課題に掲げました。

### プライダルに留まらず メモリアルへも展開を

当初、大石氏が思い描いたのは、プライダルリングやベビーリングを納める漆器ケースでした。しかし、カリキュラムのなかで、講師の景山直恵氏から遺骨ダイヤを入れるメモリアルケースの話が出ます。「そのとき、初めて遺骨からダイヤをつくる遺骨ダイヤを知りました。夫の両親が



『curumi』のキービジュアルとブランドロゴ

亡くなった時期で、自分たちの想いも重なり、人の心の癒しになるものをつくりたいと思いました」と大石氏。保氏も「日本人のライフスタイルが変わり、仏壇や墓をもつのが大変になった背景もあります」と言葉を続けます。さらに、講師の平田喜大氏から「今後の人口推移でプライダル関連は減るが、葬儀関連は伸びしろがある。リングを大切に飾るという仕組みづくりを慶事/弔事で打ち出し、それに見合ったプロダクトを考えるべき」と助言を受けます。相反する用途に対する迷いも、講師の左合ひとみ氏の「人が本当に大切なものを納めるのにふさわしい特別ないれものを、漆の伝統の技を活かして提供する」という、本質



## オリジナルブランド『halico.』



下着メーカーとしての長年のノウハウを生かし、2017年にスタートしたリラクシングインナーウェア・ワンマイルウェアブランド「halico.」。国産の豪華なレースをメインに、生地はコットンやリネンなど天然素材を使用。着心地の良さと、きれいなボディーラインを生み出すデザインが評価されています。

### 受講生からのひと言

株式会社エル・ローズ  
加藤 理恵 氏

弊社が女性下着メーカーということで、女性中心のグループを組んでいただきました。グループのみなさんをはじめ、先生方それぞれ違った目線でアドバイスしていただき、大変参考になりました。

福井市三郎丸4丁目200 ☎ 0776-27-3174

## 『平焼きバウムクーヘン IZAGUMO』



贅沢テリーヌや焼き菓子のお店「びばあーん」の新品は、福井県産の材料にこだわった平焼きタイプのバウムクーヘン。週末のみの「数量限定バウム」やインスタ映えする「デコバウム」、組み合わせ自由のギフトボックスなど、様々なシーンにオススメできるシリーズです。

### 受講生からのひと言

株式会社出雲記念館 (VIVANT)  
社長室 室長 福田 真一 氏

デザインとは表面的な色や形にとどまらず、課題解決する手法そのものであることを学ぶことができました。また「アイデア」を生み出すためのプロセスも非常にわかりやすく学べ、今後の企画立案のために活用して行きたいと思います。

福井市洲2丁目1907 ☎ 0776-43-1955

## 鋼製高級印鑑『gene(ジェーネ)』



異なる金属を貼り合わせて鍛造する武生特殊鋼材(株)のクラッドメタルに、眼鏡で培った鯖江の高い金属加工技術を用いて作られる印鑑。「欠けにくい・錆びにくい・朽ちない・押しやすい」という特徴を持っています。同じものが一つとしてない独特のダマスク模様と重厚感が男心に刺さります。

### 受講生からのひと言

株式会社小林大伸堂  
代表取締役 小林 照明 氏

形のあるモノやロゴなどのグラフィックだけではなく、会社の理念や考え方、人生までデザインであるという「デザイン思考」を学べたことが一番勉強になりました。今の時代にこそピッタリの講座だと思います。

鯖江市水落町2丁目28-29 ☎ 0778-53-1133

福井デザイン  
アカデミー修了生  
が生んだ!

## 商品・サービス ダイジェスト紹介

様々な業種の受講生がグループワークを通し、各々の課題をブラッシュアップできることがFDAの魅力の一つ。毎年、多くの新たな商品・サービスがそこでの学びを通して生み出されています。ここでは、過去のFDA修了生(企業)が生んだ商品やサービスの中から7つをピックアップしてご紹介します。また、受講いただいた方からのひと言コメントも併せてご紹介します。

## 『木の身長計ウォールステッカー』



パソコンなどデータ復旧の同社が、製造販売するウォールステッカー。お子様の成長と共に葉を芽吹かせ、一緒に成長していく身長計。葉っぱに名前・身長などが手書きでき、世界にひとつだけの身長計が作れます。昨年には第11回キッズデザイン賞に選ばれ、子育て世代を中心に人気です。

### 受講生からのひと言

株式会社エムディエス  
浅野 萌 氏

FDA受講者の後任者です。これからもっと、木の身長計を超えられるような、ワクワクできてデザイン性と機能性にもあふれたステッカーを作れるように、頑張っていきます!

鯖江市有定町3-4-7 ☎ 0778-51-9800

## プロポーズリング『オルコス』



プロポーズリング「オルコス」は、婚約指輪の代わりに渡す、プロポーズを演出するリング。幸せな結婚生活を素敵な思い出で向かえてほしい、という同店の願いから生まれました。リングがより一層引き立つ、マルメロマッシュロによるハンドメイドのデコレーションを施した特注ケースもポイント。

### 受講生からのひと言

ジュエリー土屋  
代表 土屋 道照 氏

FDAでは、ターゲットであるプロポーズする男性・される女性の顕在的かつ潜在的なメリットを徹底的に考えて、真の顧客満足プロポーズリング「オルコス」を生む思考を学ぶことが出来ました。

福井市大手3丁目15-6 ☎ 0776-28-2870

## レインウェア『Ga-Mant(ガーマント)』



同社のオリジナルレインブランド「waltz in the rain (ワルツインザレイン)」の新作。撥水性と防水性を備え、なおかつ蒸れにくいという機能性はもちろんのこと、登山やアウトドアだけでなく通勤などのタウンユースにも使える、ちょうどいいスタイリッシュさが特徴のレインウェアです。

### 受講生からのひと言

株式会社カンパネラ  
二木 美恵 氏

FDAでは諦めずに些細な事も丁寧に考えるということを学びました。受講者の方々と意見交換できた事もとても刺激的でした。ブランディングの面白さと奥深さを学ぶ事ができたと思います。

坂井市春江町針原20-1-1 ☎ 0776-63-6717

## 『5963すまいるサービス』



引越し部門を立ち上げて24年の同社が、時代のニーズに合わせ『運ぶサービス』を「ふだん活用」に」をコンセプトに立ち上げた新サービス。寝具やインテリア用品のクリーニング&保管サービス、模様替えなどでの室内の家具移動サービスなど、より暮らしに寄り添った企業を目指しています。

### 受講生からのひと言

竹原運輸株式会社  
代表取締役 竹原 正和 氏

事業自体をデザインすることで、売上げが上がることを学びました。講師の方々はまさに現場でご活躍されている一流の先生ですから、具体的な生きたアドバイスを的確に受けることができます。

福井市森行町3丁目8-1 ☎ 0776-38-5963

「受講風景を“ちょい見せ”」

〇〇（有名ブランド）が△△を作ったら？！

昨年度の1講座目に行われた、演習「ブランドらしさ分析」。「ブランド」という一見つかみにくい概念を、講義とグループワークを通して学んでいきます。「誰もが知る有名ブランドが全く別の製品を作ったらどんなものに？」という発想力を問われる課題に、初めて顔を合わす受講者同士が協力して取り組みました。“UNIQLOがスマホを作ったら？！”、“コカ・コーラが温泉を作ったら”など、各自が抽出したブランド「らしさ」を元に独創的なアイデアが出ていました。



講師紹介

本誌イントロで寄稿いただいた鷹屋信隆氏をはじめとし、素晴らしい講師陣がFDAの魅力。期間中、貴社の課題に寄り添ったアドバイスをくださる4名の専任講師・コーディネーターをご紹介します。（鷹屋氏はP1,2をご覧ください）

専任講師



**平田 喜大**  
ERGO DESIGN STUDIO  
プロダクトデザイナー

自動車、店舗照明メーカーのデザイン室勤務を経て、エルゴデザインスタジオ設立。自動車用ホイールやストリートファニチャー、生活家電をはじめ、工業化住宅のアドバンスドデザイン開発等を行う。また、特殊工具や理容師鏡等、プロ専門用具の商品開発も得意とする。京都精華大学プロダクトデザイン学科教授。



**左合 ひとみ**  
株式会社左合ひとみデザイン室  
グラフィックデザイナー

企業と顧客を結ぶコミュニケーションデザインによる問題解決と新しい価値の創出を目指し、幅広い領域で活動。新潟県燕市の洋食器を国際的に発信する「ennu」、広島県廿日市市のもみじまんじゅうの老舗菓子舗「藤い屋」のブランディング等、地域産業活性化のプロジェクトも多い。大阪芸術大学短期大学部客員教授。

コーディネーター



**水野 美紀**  
グラフィックデザイン晴れのひ。  
グラフィックデザイナー

グラフィックデザイン・パッケージデザイン・キャラクターデザイン・イラスト制作など印刷物全般に従事。パッケージデザインを担当した今庄さき酒セット「歴史が醸す四蔵元物語」は、H29年度福井県優良観光土産品優秀賞受賞。



**高山 友樹**  
he/rbest (ハーベスト)  
グラフィックデザイナー

新聞・雑誌・CMなどの広告デザインに従事。インターネットマーケティング思考によるブランディングを基軸として、さまざまな広告媒体のデザインディレクションに関わるとともに、「デザイン塾」を開設し、デザイン啓発活動を進める。

お問い合わせ

デザインセンターふくい ((公財) ふくい産業支援センター)  
TEL : 0778-21-3154 FAX : 0778-21-3155 E-mail : dcf@fisc.jp  
〒915-0096 越前市瓜生町 5-1-1 サンドーム福井 管理会議棟 2階

INFORMATION

福井デザインアカデミー2018  
ブランディング&商品開発講座

内容を進化・発展させながら、今年で20年目を迎える福井デザインアカデミー。今年は9月からの開催で、現在受講者募集中です。評判の良さは受講者のみならず、県内デザイナーさんが「アカデミーを修了している方とは仕事がしやすい」と話すほど。デザイン手法を身につけて、貴社の商品企画開発にお役立てください。

会場	サンドーム福井・福井県中小企業産業大学校
対象	ブランディング・商品開発を目指す人（企業、個人問わず）
受講料	50,000円（全12回コース）
定員	20名

受講者  
募集

カリキュラム

全12回 / 13:30 ~ 17:30

本講座では、受講者が実際に抱える課題を持参していただきます。分析・設計・伝達の3部構成(4回/部)となっており、講義と演習を通してデザイン手法を身に付けながら、解決にいたるまでのプロセスを体験します。

第1部  
分析

テーマの本質を見極める

- |   |           |                                          |
|---|-----------|------------------------------------------|
| ① | 9月14日(金)  | <b>良いデザインとは？</b><br>演習：ブランドらしさ分析         |
| ② | 9月21日(金)  | <b>顧客視点で考える</b><br>演習：初期仮説シート、情報収集プランの作成 |
| ③ | 10月5日(金)  | <b>戦略を考える</b><br>演習：SWOT分析、プレゼンテーション内容検討 |
| ④ | 10月12日(金) | <b>プレゼンテーション</b><br>深化したテーマの発表           |

第2部  
設計

アイデアを企画化する

- |   |           |                                                   |
|---|-----------|---------------------------------------------------|
| ⑤ | 10月26日(金) | <b>未来の顧客を明らかにする</b><br>演習：ペルソナのとなりを考察し、まとめる       |
| ⑥ | 11月2日(金)  | <b>顧客とサービスとのリンク</b><br>演習：自身のサービスとペルソナを結び合わせる     |
| ⑦ | 11月9日(金)  | <b>思いを企画化する</b><br>演習：ペルソナの心を捉えるサービスを企画書で表す       |
| ⑧ | 11月30日(金) | <b>サービスの明確化と確立</b><br>演習：ブランドコンセプトを含む企画の全容を明らかにする |

第3部  
伝達

印象的に表現する

- |   |           |                                                         |
|---|-----------|---------------------------------------------------------|
| ⑨ | 12月7日(金)  | <b>コミュニケーションデザインとは</b><br>演習：ブランディングブックの作成(ストーリー・コンセプト) |
| ⑩ | 12月14日(金) | <b>コミュニケーションデザインの実践</b><br>演習：ブランディングブックの作成(コンセプトから表現へ) |
| ⑪ | 12月21日(金) | <b>伝わるコミュニケーションデザイン</b><br>演習：ブランディングブックのブラッシュアップ       |
| ⑫ | 1月11日(金)  | <b>プレゼンテーション</b><br>ブランディングブックの発表                       |



ふくい産業支援センターの事業や施策を活かし、前向きにがんばる県内企業の取り組みをご紹介します

# 河川を管理する内水面漁協を起点に、ICT技術で地方に光を当てていく。

## 株式会社フィッシュパス

インターネット上で河川の電子遊漁券を24時間購入できるサービスを提供する、株式会社フィッシュパス。本格的な販売から1年余りで県内外8つの内水面漁協が導入するなど、売れ行きは好調です。河川を舞台にICT技術(※1)でイノベーションを起こし、地方に光を当てる取り組みは、2017年度版水産白書で紹介されるなど国からも注目を集めています。これまでの成長のプロセスと今後の展開を、代表取締役の西村成弘氏に伺いました。

※1: Information and Communication Technology。略語で、情報・通信に関する技術やサービスなどの総称です。

### 故郷の川の変化に驚き 新しいサービスを発案

フィッシュパスは、インターネット上で川釣りの許可証にあたる遊漁券を24時間購入できるオンライン販売システムです。GPSとの連動で、釣り人の位置情報データを可視化。地元の河川を管理する内水面漁協の券の監視業務を軽減し、漁場整備の効率化を図るとともに、河川の水位情報を把握し、急な増水時の安否確認に活用。釣り人にとっても、券の購入が容易で、安心して釣りを楽しめると好評です。

事業を立ち上げた西村氏は、実は、飲食業を展開する有限会社オンフードの代表取締役です。異業種参入のきっかけは、「4年前、故郷の竹田川に釣りにでかけたら、川底が浅くなり、魚が減っていた。ヤマメやイワナ釣りをした昔との変わりように驚きました」と振り返ります。その課題を探るべく、2015年、福井県立大学大学院に入学。川の活用をテーマに研究するなか、内水面漁協の管理能力が高齢化や釣り人減少による収入減で弱体化したことが判明します。

**快適** 24時間いつでもどこでも! 購入可能!

**便利** 河川の釣り情報以外にも地元のグルメや宿泊、イベントなど便利な情報満載!

**安心** 釣り人の安全確認システムで安心!

解決策として、西村氏は内水面漁協を起点にした地方創生事業フィッシュパスのサービスを考案。2016年、「福井発ビジネスプランコンテスト」でグランプリを獲得したのを機に、同年8月、社内「フィッシュパス事業部」を立ち上げました。

### ICTの知識を深めつつ 地域共存モデルを構築

「当時のフィッシュパスは、まだアイデアレベル。ICTは異業種中の異業種で、まったくの素人でした」と語る西村氏。ふくい産業支援センターの津田均コーディネーターなど多くの人々に相談し、一度ビジネス自体を見直すことに。ICTの知識を深めるとともに、様々な視点から意見を

募集し、収益モデルの採算性などを検討します。そうして2016年10月、福井県産業情報センタービル内に、福井県立大学発のベンチャー企業として同社を設立しました。「支援センターがなかったら今はない。アプリ開発など誰にどう聞いていいかわからないとき、一度受け皿になって多面的に選択肢を紹介してくれました。このようなところは他にありません」と信頼を寄せます。

### 地域の経済効果を高め 河川の防災安全に貢献

フィッシュパスは、遊漁券の販売だけでなく、漁協が開くイベントへの参加促進や地域の飲食店やお土産情報など

のピンポイント発信など、釣り人と地域を結びつける機能を搭載。防災通知システムや緊急通知機能も付加し、包括的に防災安全に貢献できるサービスを確立しています。その取り組みに関心を示す企業も続々と現れています。損害保険ジャパン日本興亜は、今年、傷害保険「フィッシュパス保険」を専用サイト内に導入。セイコーエプソンの眼鏡型ウェアラブル端末による漁協の監視実験や、カシオのデジタルウォッチへの導入など、多種多様な開発が同時進行しています。さらに、

漁協の経営改善や地域への経済効果、河川の環境保護を実現させる可能性などが高く評価され、地域の課題をICTで解決する事例を対象とした総務省の「ICT地域活性化大賞2017」で優秀賞を受賞するなど各方面から注目を浴びています。「全国に内水面漁協は830ありますが、今後4年間で400の漁協に導入してもらおうのが目標です」と展望を語る西村氏。「ただ、忙しすぎて釣りができないのが残念」と苦笑い。全国を駆け回る多忙な日々が続きます。



西村 成弘 氏

株式会社フィッシュパス  
<https://www.fishpass.co.jp/>  
 所在地: 坂井市丸岡町熊堂 3-7-1-16  
 代表者: 西村 成弘 氏  
 資本金: 2,000 万円  
 事業内容: 遊漁券オンライン販売システム等の提供  
 従業員数: 4 名  
 電話番号: 0776-67-7335

アプリのシステム開発は、提案力の高さから株式会社システムエルフに決定。「同じビル内に事務所を構える同士、打ち合わせもやりやすかった」と笑顔を見せます。オンライン販売システムの構



今年6月には足羽川での釣り体験教室に協力しました。

### この事業を活かしました

#### 福井ベンチャーピッチ

成長意欲の高いベンチャー企業に、ベンチャーキャピタルや金融機関等の前でセールスプレゼンの機会を提供することで、資金調達や販路拡大など事業拡大の機会を得ていただくことを目的としたイベントです。

第3回  
 福井ベンチャーピッチ  
 9/18 (火)  
 13:30~  
 現在オーディエンス  
 募集中!



登壇中の西村氏

お問い合わせ

販路開拓支援部 創業・Eビジネス支援グループ  
 TEL:0776-67-7416 Email:ebiz-g@fisc.jp

日本で最大級の公的研究機関である「国立研究開発法人産業技術総合研究所」(通称 産総研)は、日本の産業や社会に役立つ技術の創出とその実用化や、革新的な技術シーズの事業化に向けた取り組みを行う中核的な機関です。このコーナーでは毎回、福井県の企業が深く関わる研究開発について、研究者の方々からご紹介いただきます。

## 「めっき被膜の高性能化を目指して」 歴史ある表面処理加工技術と新素材の融合

国立研究開発法人産業技術総合研究所 機能化学研究部門  
スマート材料グループ 研究グループ長 松澤 洋子

### カーボンナノチューブの分散

カーボンナノチューブ (CNT) はグラファイトシートがくると丸まった、筒状のかたちをしています(図)。グラファイトの層が1層のものを単層カーボンナノチューブ (SWCNT)、多層のものを多層カーボンナノチューブ (MWCNT) と区別しています。特に SWCNT はとても細く、直径が約 1 nm 程度であり、細長い特徴的な構造がもたらす様々な性能・特徴、例えば、その優れた引張強度や弾性率を活かした強化複合材料への展開などに、数多くの人々が魅せられています。しかしながら、CNT は細長い形故に非常に絡まりやすく、水や有機溶媒といった溶液に溶けにくく、加工がしづらいという課題を抱えていました。私たちは、こういった CNT の使いづらさを解決するために、水に効率よく分散することのできる分散剤や分散手法について研究開発を行っていました。

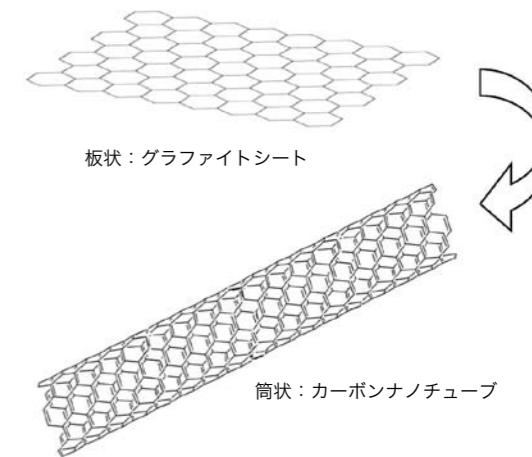


図1 カーボンナノチューブの形の概念図

### CNT複合めっき

産総研には、研究者の活動を中小企業様のニーズと引き合わせる役目をする連携コーディネータという役職があります。私たちの研究活動を知った連携コーディネータが、CNTを複合させためっき膜の作製に取り組もうとしていた表面処理加工メーカーのアイテック(株)(鯖江市)に、産総研の技術を紹介させていただいたことにより、CNT複合めっきの共同開発がはじまりました。めっき加工技術は歴史が長く、様々なものが知られております。近年、被膜の機能性を向上させるために、ナノ粒子を複合化させた複合めっきも知られるようになってきましたが、そもそも溶媒に溶けにくいCNTを様々な成分が溶け込んでいるめっき液に複合化させることは、課題も多く、始めた当初はかなり試行錯誤でした。アイテック(株)の新事業開発本部の皆さまと、まずは試験的に開始したこのCNT複合めっきの開発は、福井大学の岩井善郎先生他のグループとともに、アイテック(株)を総括研究代表者とする戦略的基盤技術高度化支援事業(2012年-2014年)に採択されました。このプロジェクトでは、少なくとも年に複数回の進捗報告会がふくい産業支援センターで開催されました。冬季は新幹線から北陸本線への乗り換えにひやひやしたことも懐かしい思い出です。この研究開発で得られた技術はアイテック(株)と共同で特許出願するとともに、現在も企業連携により複合めっき技術の開発に共に取り組んでおります。分散という技術がとりもった福井のみなさまとご縁に心から感謝申し上げます。また、微粒子の分散でお困りの案件がございましたら、ぜひ産総研福井サイトにご連絡ください。

お問い合わせ

産総研 福井サイト  
福井県工業技術センター 管理棟2階 TEL: 0776-55-0152

# 中産大通信

## 今求められる人材育成

中産大(中小企業産業大学校)が近々実施する研修をピックアップし、ビジネスの普遍的な原理原則にトレンドを交えながら内容を紹介いたします。

### 第2回 今回ご紹介する研修

#### ダントツ品質ものづくり達成セミナー 募集中!

日時 平成30年9月5日(水)・6日(木)・  
10月30日(火)各日9:30~16:30

対象者 現場管理者、設計担当者

会場 福井県中小企業産業大学校(福井市下六条町16-15)

受講料 38,000円(消費税込)

#### 研修の特長

- 開発工程の上流での対策(源流対策)を重視したプログラム
- 共同で新製品開発を行っている方に最適
- 自社ケースに落とし込み“ダントツ品質”実現の方法を実践的に学ぶ
- 最終日にフォローアップ研修(取り組み結果発表と講師フィードバック)を実施

#### 講師からのメッセージ



QCD革新研究所 所長  
中村 茂弘 氏

「源流対策」という観点で、これまでの研究で裏付けられた手法を中心に、品質不良をなくするためのポイントを伝授します。社内での実践も通して、ダントツ品質を目指すスキルを身につけましょう。



▲中村講師による本研修の案内(動画)をご覧ください(中産大のHPで公開中)

## 工程投入前から不良を絶つ正しい“デザイン・イン”の考え方とは？ 職場での実践とフォローアップ付きの3日間コース

部品メーカーと完成品メーカーが企画・設計段階から共同で開発する「デザイン・イン」を採用している企業は少なくありません。デザイン・インには開発工程全体の効率化や期間短縮といった効果がありますが、開発段階の問題に起因する品質不良が多いのも実態です。

この研修では、正しいデザイン・インの考え方に基づき、企画・設計段階から品質不良を絶つための知識や手法を、ケーススタディや自社事例(実践)を通して身につけていただきます。

### 研修を先読み

### こんなことを学習します

#### デザイン・インにおける重要なアプローチ

##### DR(デザイン・レビュー)の望ましい進め方

“開発時に何回も検証を行っているが問題がなかなか抽出されない”、“製品化段階で重大な欠陥が見つかった”。こんな経験はありませんか？

デザイン・インにおいて重要なアプローチの一つにDRがあります。DRとは、企画から量産に至る開発プロセスの段階毎で、開発担当だけでなく関係者一同が集まって必要項目を評価し、基準をクリアすれば次のステップに進む手法を指します。JISや

ISOといった国際規格でも定義されていますが、正しく機能していない企業も多いようです。

この研修では、中村講師の長年の研究から得られた本来あるべきDRの手法について、事例を取り上げて学習します。



### 顕在リスク・潜在リスクを洗い出す

#### リスク対策要件の検討

新製品開発では、市場動向や競合先の脅威などを把握する必要があるのは言うまでもありませんが、品質の観点からいえば、製品化後の不良・クレームや重大な事故を防止するためにも、企画段階で顕在リスク・潜在リスクを洗い出し、それに対する対策を検討することも重要です。研修では開発事例を取り上げ、リスク対策について考えていただきます。

#### ◆リスク対策の着眼点

- 開発中の類似製品について、他社の開発の歴史はどうか？(事故や不良は発生していないか？発生していればどんな対策を取っていたか？)
- 開発期間内のネックとなる事項をどの程度管理しているか？
- 開発が失敗した場合の危険度や暫定策、回避策をどのように想定しているか？

など

### 品質管理手法を不良対策に活かす

新製品開発段階からの不良対策にシックス・シグマなどの品質管理手法を利用する考え方についても学習します。

#### ◆主な品質管理手法

シックス・シグマ	業務プロセス改善の方法論で、品質のパラッキを最小限に抑え、顧客満足の向上を図る。
コンカレント・エンジニアリング	新製品開発工程の各プロセスを同時並行に行う手法。開発時間の短縮、コスト削減を図ることが可能。



#### 【お問い合わせ先】

人材育成部(中小企業産業大学校)  
TEL: 0776-41-3775 E-mail: manabi@fisc.jp

#### お申込みはホームページから

中産大

検索





## 2017年度グッドデザイン賞／株式会社西村プレジジョン

### リーディングウェア [ペーパーグラス・プレミアムクラシックシリーズ]

いつもあなたのそばに。老眼鏡のイメージとライフスタイルに革新を起こしたペーパーグラスが、老眼鏡から「リーディングウェア」へと進化しました。折り畳むと長財布にも収まる携帯性・日常に溶け込む上質なデザイン・多様な使用用途に応えるマルチレンズへの対応。リムに対してヨロイを斜めに取付けるというペーパーグラスの基本構造はそのままに、取付け角度を最適化。さらに、素材変更、リム・ブリッジ・テンプル等の形状変更を行うことにより、読む、見る、書くを、もっと楽しく。もっと美しくしました。

上質なモノを手軽に。老眼は一般的に40歳前後から始まると言われ、その対象は日本においては総人口の約6割に当たります。多くの人にとっての必需品である「老眼鏡」。そこに求められるのは品質が良く携帯性に優れるということだと考えました。道具としての機能を最大限満たした機構と、モノとして所有することを満たす品質。その異なる要素を高次元で融合させたのがペーパーグラス・プレミアムクラシックです。フレーム収納時の薄さを実現する為の設計と加工精度は、長年鯖江で培った技術とノウハウによるものです。日常で使用する上で無視出来ないのがファッション性。道具としての「ウェア」、装いとしての「ウェア」、その両方を兼ね備えた「リーディングウェア」を目指しました。

#### 【DATA】

- プロデューサー (株)西村プレジジョン 代表取締役社長 西村昭宏
- ディレクター (株)西村プレジジョン 事業部長 飛山昌久  
経営企画部 吉田佳史
- デザイナー (株)西村プレジジョン デザインマネージャー 齊藤みやこ  
+ソウウェル デザインオフィス 脇聡
- 発売 2017年5月3日
- 価格 35,000円
- 仕様 【寸法】(閉じたとき) w145.6mm × h45.5mm、  
(開いたとき) w137.8mm × h38.9mm  
重量: 16g (フレーム10g レンズ [+1.00] 6g)

#### 【審査委員の評価】

担当審査委員 | 鈴木啓太 安東陽子 原田祐馬  
山本秀夫 Jung-Ya Hsieh

前回の製品からさらにコンパクトになり、技術的な発展が認められる。特に、スタイルがより洗練されたことにより、メガネを装着した時の佇まいに自然な雰囲気をもたらすデザインとなった。一般的に「老眼鏡」にはメガネとしての機能のほかに携帯性などが重視される。その結果、プロダクト自体の美しさは必然的に備わるものの、装着した際のスタイルまでは配慮が及ばないこともあった。この製品ではその点で新しい機能美を提案している。

# Start a New Project

## 創業者・若手経営者の挑戦

(公財) ふくい産業支援センターでは『ふくい創業者育成プロジェクト』を通し、県内の創業者をさまざまな角度からサポートしています。ここでは、創業者や若手経営者の新しい視点を活かしたユニークな事業や立ち上げまでの道のりをご紹介します。

### Instance 03 子どもたちの発達を支える療育教室を開所 実費メニューを新設し、幅広く支援を提供

#### 子どもたちの発達を支える療育教室を創業

馬田さんは、特別支援学校や行政機関に勤務し、自閉症スペクトラム症や知的障がいの子どものための教育を長年行ってきました。その経験から「自閉症スペクトラム症・発達障がいの子どものための発達を支えるためには、地域に根ざした支援の場のさらなる充実が必要」と考え、2016年4月、療育教室「あこおる」を開所し、福祉サービス受給者証を持っている方を対象に、幼児期から学齢期の子どもの個別療育及び小集団療育を行っています。

#### 年齢や障がいの程度を問わず幅広く支援するために

創業2年目には、「あこおるPLUS (プリウス)」を立ち上げ、福祉サービス受給者証の有無や年齢・障

がいの程度を問わず、発達支援や相談、コンサルテーション、発達支援セミナーなどのサービスを実費で提供しています。県内の発達障害支援業界ではこういった取り組みは珍しいようですが、最近では引き合いも増えており、ニーズの広がりを実感しているとのこと。

#### 現在の取り組みを全国に発信

「これからはいろんなことにチャレンジしたい」と意欲を語る馬田さん。従業員も創業当初の3名から7名に増えるなど事業も順調に推移しており、今後は療育教室「あこおる」を核に、セミナーやコンサル活動を通じて同社の取り組みを全国に発信していく予定です。



あこおる合同会社  
代表 馬田 知武さん

<http://www.accord-fukui.com/>  
所在地: 福井市石盛町811 Fプラザビル2階  
TEL: 0776-56-0322  
E-mail: info@accord-fukui.com

### Instance 04 誰にも真似できない商品開発に挑戦し創業 地元で根付いたパン屋さんを目指す

#### 材料にとことんこだわったパン屋を開店

小林さんは2017年に卵と乳製品を使わないパンのお店をオープン。過敏症やアレルギーで困っている方でも安心して食べられるようにという思いから、材料にとことんこだわったパンを提供しています。天然培養酵母の自家製食パンの他、谷口屋さんの豆乳を使って柔らかく焼き上げた豆乳パンなどが人気です。

#### 創業準備に費やすこと5年

子どもの頃から「人に役立つ技術者になりたい」と思っていた小林さんがパン作りに着目し、創業準備を始めたのは5年前。福井県立大学が「ふくこむぎ」という小麦の新品種を開発したことを新聞で知り、パン作りに不向きと言われる「ふくこむぎ」をあえて使用することで、誰にも真似できないパン作りに挑戦できるのではないかと考えたことがき



かけでした。「地元で根付いた店作りをしたい」という思いから、あえて広告を打たずに口コミだけでファンを増やしていった結果、地元を中心としたリピート顧客の獲得に成功しました。

#### 子どもたちにもものづくりの楽しさを伝えたい

農機具小屋を義父から譲り受け改装したという、販売スペースが一坪ほどのお店には、近所の子も達もふらりと立ち寄り小林さんと会話をを楽しむ姿が見られます。そんな子ども達に「パン作りを通して、ものづくりの楽しさを伝えたい」と話す小林さん。夏休みには子ども達を対象にした教室も開催するそうです。

びんぼんぱん  
代表 小林 志穂里さん

<https://www.facebook.com/fukui.pinponpan/>  
所在地: 坂井市坂井町長屋 19-27  
TEL: 090-7086-9608



## 株式会社杉原商店 ギャラリー WASHIYA

土蔵の重厚な扉の奥には、蔵独特のひんやりとした空気に満ちた開放的な空間に、インテリアに用いられる大判の紙や和紙を使った商品の数々がゆったりと展示されています。杉原家の物置として使われていた築100年の蔵が昨年、福井県出身のインテリアデザイナー水谷壮市氏によりリノベーションされ、越前和紙のギャラリーに生まれ変わりました。床以外にはあえて手を加えず、蔵の持ち味を生かした空間に。蔵で使われていた長持をそのまま活かしたショーケースや長さ10mを超える大きな和紙などが、計算されたライティングで印象的に浮かび上がります。

1871(明治4)年の創業から、紙問屋として地域の和紙職人と消費者をつなぐ役割を果たしてきた同社。「県外や海外からこの産地を訪れる人々に、越前和紙の魅力をより知ってもらいたい」という杉原吉直社長のかねてからの想いを、ふくい産業支援センターの助成金なども活用しながら実現しました。これまでも同社が架け橋となり、いくつもの世界のモダンなインテリアに越前和紙が採用されています。今後はアート分野など新たな展開にも意欲を見せる同社。このギャラリーを、作り手と使い手が交流し新しいものを生み出す拠点としていきたいと思いを語ります。

活用事業：ふくいの老舗企業チャレンジ応援事業

株式会社杉原商店  
越前市不老町17-2  
TEL: 0778-42-0032  
OPEN: ギャラリーは毎月第4土曜日に一般公開

# 話題の 新スポット巡礼

県内企業が打ち出した気になる新スポットにF-FACT編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

No.02

## 総合相談窓口に、 新たなコーディネーターが加わりました！

経営・マーケティング・技術・ITのことなど、お気軽にご相談ください



### 県内企業のWeb・IT活用を ご支援します！

コーディネーター

ささき たかみ  
佐々木 孝美

be-smiling(ビー・スマイリング) 代表

得意分野

- Webマーケティング・SNS活用
- IT活用やシステム導入に関する助言・指導
- 業務データなどを活用した経営分析の方法
- 女性目線での商品開発、マーケティングに関するアドバイス

プログラマー・SE出身の中小企業診断士。IT活用によるシステム導入等に向けたアドバイスはもちろん、IT教育請負会社およびWeb制作会社での経験を活かし、Webマーケティングやライティング、プレゼンテーションやSNS活用など、中小企業におけるWeb・ITの効果的な活用を強力にバックアップ。  
また、福井県では希少な女性の中小企業診断士でもありますので、女性目線での商品開発やマーケティングに関するアドバイスが可能です。



### 県内企業の生産性向上を ご支援します！

コーディネーター

あざわ よしゆき  
浅澤 義幸

モノづくりパートナー福井株式会社  
チーフパートナー

得意分野

- QC(品質管理)の改善支援(不良率の低減)
- IE(工程管理)の改善支援(生産効率の向上)
- その他、生産管理や現場改善等に関するアドバイス

モノづくりパートナー福井株式会社の立ち上げメンバーの一人。株式会社村田製作所でQC(品質管理)・IE(工程管理)の両面から改善を推進してきた豊富な経験(生産効率倍増、不良率半減等の成果を達成)を活かし、お客様のモノづくりを幅広くご支援します。海外赴任の実績もあり、国外でのビジネスや文化の違いにどう対処し、業務に反映させるかといったアドバイスも可能です。資材調達、製造、検査、販売サービス、顧客調査など幅広い業務経験があり、課題に応じて適切な判断・方向付けをアドバイスします。

お問い合わせ

佐々木CDの当番日【嶺北】7/30(月)、8/13(月)、8/20(月)、9/10(月)  
浅澤CDの当番日【嶺北】7/27(金)、8/10(金)、8/31(金)、9/14(金)

総合相談窓口[相談無料・事前予約制]

毎週月曜～金曜(休日・祭日を除く) [嶺北]9:00～17:00 [嶺南]9:00～12:00  
TEL:0776-67-7400 FAX:0776-67-7429 E-mail:soudan-g@fisc.jp  
URL: <http://www.fisc.jp/consult/sougo/>  
※上記URLから専門家の当番予定日や予約状況が確認できます。お気軽にご連絡ください。

# 第3回 福井ベンチャーピッチ

～福井が変わる！世界を変える！～

開催日時 平成30年9月18日(火)  
13:30～17:30

会場 ハピリン  
3F ハピリンホール  
(福井市中央1-2-1)

定員 100名 対象 ●金融機関 ●ベンチャーキャピタル関係者  
●企業経営者 ●新規事業立ち上げ責任者  
参加費 無料 ●自治体・支援機関関係者



上記のQRコードを読み取ってページへアクセスできます

## 基調講演

テーマ 「ベンチャーキャピタルから見る、起業家成功の条件」



講師 YJキャピタル株式会社 代表取締役社長 堀 新一郎 氏

慶應義塾大学(SFC)卒業後、フューチャーシステムコンサルティング(現フューチャーアーキテクト)を経て、株ドリムインキュベータ(DI)にて経営コンサルティング及び投資活動に従事。2007年よりDIのベトナム法人立ち上げのため、ホーチミン市に赴任。ベトナム現地企業向け投資を行う50億円のファンドのソーシング及びバリュアアップに携わり、5年半に亘るベトナム駐在を終え2012年に帰国。2013年よりヤフー株式会社に入社しM&A業務に従事。2013年7月よりYJキャピタルへ参画。2015年1月COO就任、2016年11月より現職。東南アジアのグロースファンドEV Growth Fundの共同パートナー、アクセラレータープログラムCode Republic共同代表及び、ソフトバンクのグループ内新規事業開発・投資会社であるSBイノベーション(株)取締役兼務。

## 協力いただく専門家

福井ベンチャーピッチでは、イベント当日、県内外の現役のVC、起業家支援の専門家を配置し、ピッチへのアドバイス、資金調達や販路拡大のコーディネート、ビジネスモデルのメンタリングにより登壇者を支援します。

## アドバイザー



アロイトーマツベンチャーサポート株式会社 事業統括本部長

齋藤 祐馬 氏



株式会社ジャフコ 中部支社長

藤田 豪 氏



株式会社アイビーアライアンス 代表取締役社長

木嶋 豊 氏



プロトスター株式会社 代表取締役CCO

栗島 祐介 氏

## コーディネーター



株式会社アプリコット・ベンチャーズ 代表取締役

白川 智樹 氏



前田工織株式会社 取締役COO兼専務執行役員

前田 尚宏 氏



ユニフォームネクスト株式会社 代表取締役社長

横井 康孝 氏

お問合せ

公益財団法人ふくい産業支援センター 創業・Eビジネス支援グループ 岡田

TEL 0776-67-7416 E-mail ebiz-g@fisc.jp HP http://www.s-project.biz/

## INFORMATION

### 平成30年度 助成金公募のご案内

#### ふるさと企業育成ファンド（創業支援）

事業目的	福井県内で新たな創業を行う取り組みに対して、事業拠点開設、商品開発、販路開拓に係る経費の一部を助成します。
対象者	①県内において、助成事業期間完了日までに個人開業または会社（会社法上の株式会社、合同会社、合名会社、合資会社をいう。）、企業組合、協業組合、特定非営利活動法人の設立を行い、その代表となる者 ②県内に主たる事業所を有し、創業5年未満（開業日が平成26年4月1日以降）の中小企業者
助成率/助成金額	2/3以内（上限200万円）
対象期間	交付決定日（11月予定）～原則12か月以内（延長可能）
募集期間	平成30年7月23日（月）～8月31日（金）17時必着

#### おもてなし産業魅力向上支援事業（商品開発）

事業目的	北陸新幹線県内開業等に向けた観光客への土産品の新商品開発・販路開拓の経費の一部を助成します。
対象者	県内に主たる事業所を有し、次のいずれかに該当する中小企業者または個人事業者 ①県内の工場で製造する製造業者 ②卸売業者または小売業者等（①の事業者に製造委託する者に限る）
助成率/助成金額	2/3以内（上限200万円）
対象期間	次のいずれかで選択できます。 ●1年計画：交付決定日（11月予定）～翌年1月末までの期間 ●2年計画：交付決定日（11月予定）～翌々年1月末までの期間
募集期間	平成30年8月1日（水）～9月10日（月）17時必着

#### ふくいの逸品創造ファンド事業

事業目的	県内の特色ある産業資源を活用した新商品・新サービスの開発・販路開拓の経費の一部を助成します。（ただし、土産品等、観光客向けの商品・サービスを除きます）
対象者	県内に主たる事業所を有し、次のいずれかに該当する者 ①中小企業者および小規模企業者 ⑤漁業協同組合等 ②個人事業者 ⑥森林組合等 ③有限責任事業組合 ⑦特定非営利活動法人 ④農業協同組合等 ⑧①～⑦に該当する者で構成されるグループ
助成率/助成金額	1/2以内（上限200万円）
対象期間	交付決定日（11月予定）～原則12か月以内（延長可能）
募集期間	平成30年8月1日（水）～9月10日（月）17時必着

お問合せ

公益財団法人ふくい産業支援センター ふるさと産業支援部 資金支援グループ

TEL 0776-67-7406 FAX 0776-67-7429 E-mail shikin-g@fisc.jp

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

## 企業情報メール便

販路拡大のチャンス！  
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便（チラシ同封サービス）を毎月実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



### ●次回実施号

VOL.32 9月25日発行予定  
チラシ提出締切日：9月18日(火)  
チラシ：1,700部をご提出  
(持参または配送) ください。

### ●料金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
A4判以下のチラシ	6,480円
A4判超～A3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,720円
A4判以下のパンフレット(10ページ程度まで)	12,960円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。  
1号につき約10社まで受け付けます。  
なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財) ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT 編集室  
TEL: 0776-67-7414 E-mail: kouhou-g@fisc.jp

## IT研修 9月/10月の注目講座

### 初めてのWordPress入門

～インストールからカスタマイズの初歩まで～

**日程** 9月10日(月) 9:00～17:00  
**講師** 森川 徹志 氏 (株式会社カウベル・コーポレーション)  
**受講料** 7,500円(税込・テキスト料込)  
**定員** 12人



### Illustrator入門

～これから始める方のための初歩の初歩～

**日程** 9月20日(木) 9:00～17:00  
**講師** デザイン講師 高柴 典子 氏  
**受講料** 8,200円(税込・テキスト料込)  
**定員** 12人



### ネットワークセキュリティ基礎

～システム管理者なら知っておきたいセキュリティ基礎知識～

**日程** 10月1日(月)～2日(火) 9:00～17:00  
**講師** 山田 篤彦 氏 (セイ・コンサルティング・グループ株式会社)  
**受講料** 17,400円(税込・テキスト料込)  
**定員** 12人



本誌に関するお問い合わせは

**fisc** 公益財団法人 ふくい産業支援センター <http://www.fisc.jp/>  
総務部 TEL:0776-67-7414/FAX:0776-67-7401/E-mail:kouhou-g@fisc.jp  
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声を  
お聞かせください!!

「○○が面白かった、ためになった」、「△△をもう少し□□にしたらどうか」、「●●のテーマについて紹介して欲しい」、「▲▲会社がやっている■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

## 編集後記

『デザイン』というと、色・形のことと考えてしまいがち。ものづくりに携わっていない方にとっては「自分の業界とは関係ない」と思われることも多いのではないのでしょうか。しかし、デザインの基本は「課題を発見する」→「解決策を考える」→「表現する(かたちにする)」という、経営のプロセスそのものともいえるものです。実際にFDAには、毎年ものづくり企業だけでなく、さまざまな分野の受講生が集まり、12回のカリキュラムを通してそれぞれの経営課題に対し解決へのプロセスを体験しています。ここで学べるデザイン思考は、今後、貴社が新たな取り組みをする際の一つの指針になるのではないのでしょうか。

また、異業種同士がグループになり、お互いの課題に真剣に向き合うことで仲間意識も生まれてくるよう。会期の後にもSNSで事業報告し合ったり、メンバー同士集まったりといった交流もあるとインタビューでは耳にしました。そんな一面もFDAの魅力といえそうです。今回の特集でFDAにご興味を持たれた方は、ぜひデザインセンターふくいにお問い合わせいただければ幸いです。

## 新聞記事から集めた 県内企業の 新商品・新規事業

■収集期間：平成30年5月1日～30年6月30日  
■収集対象：福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

### 【食品・飲料】

洋菓子店などを運営する同社は、市公認のゆるキャラ3体をプリントした「つるがゆるキャラクッキー」を発売した。福井県産を見据えて「はびりゅうクッキー」も合わせて販売しており、観光客をターゲットに販路の魅力をPRする。	アイドルつるかめ(敦賀市)
ウメの生産、加工販売を手掛ける同社等が、福井県「紅映」を使った機能性表示食品「グッジョブ」を開発した。坂井市の食品素材メーカー、カワイマテリアルの相談がきっかけ。クエン酸を多く含む、爽やかな味わいに仕上げた。	エコファームみかた(若狭町)
同社は、複数年にわたり水溫で貯蔵し熟成させた最高級純米大吟醸の原酒「無二」の販売を秋から始める。同社特約店による入札会が東京都内のレストランで開かれ、出品予定本数を大きく上回る2800本が高値で落札された。	黒龍酒造(永平寺町)
「福千歳」の醸造元の同社は、福井市産のもち米を100%使用した調理用の地場産本みりんを商品化した。2年の熟成を経て瓶詰めしたもので、福井産の土産品として福井県産でも発信していく。	田嶋酒造(福井市)
「越前仕立て汾うに」を製造販売する同社は、限定商品「天王屋吉兵衛」を販売する。厳選した県産パワンウニを低温で1年間熟成。県産の桐箱に詰め、手すきの越前和紙で包装する「オール福井」の逸品として提供する。	天たつ(福井市)

### 【繊維/衣服】

健康器具・雑貨製造の同社は、蓄熱性能の高い天然鉱石繊維を使った腰巻きの販売を始めた。体温を吸収して温まる仕組み。高齢者や女性からの需要を見込み、年間5000枚の売り上げを目指す。	ユメロン黒川(越前市)
-------------------------------------------------------------------------------------------	-------------

### 【眼鏡】

同社は、中学生までの子どもに向けた定額制の眼鏡を作った。変わりやすい子どもの視力に合わせて眼鏡のレンズを換えやすくてできないかとの思いから生まれた商品。1万8千円を払えば1年間、交換に追加料金なしで応じる。	田中眼鏡(鯖江市)
眼鏡企画製造販売の同社は、超薄老眼鏡「ペーパーグラス」の技術を使ったサングラスを開発し、クラウドファンディングサービスでの先行発売を始めた。折りたたんだときの厚さが3mmで携帯しやすい商品に仕上げた。	西村プレジジョン(鯖江市)

### 【伝統工芸】

越前漆器製造販売の同社は、越前漆器と眼鏡の製造技術を組み合わせ女性向け腕時計を製造し、クラウドファンディングで試験販売を始めた。文字盤とバングルは取り外し可能。9月以降に本格販売する。	サンユー(鯖江市)
老舗和紙問屋の同社が協力し、東京都の総合広告業フロンテッジが、恐竜化石の質感を越前和紙に再現した「恐竜標本和紙」を発売した。和紙には独自の加工技術で化石表面の細かな凹凸が表現されている。	杉原商店(越前市)
プライダグッズ企画販売の同社は、越前漆器の台座と越前和紙の結婚式用席次表のセットを製作し販売を始めた。和装婚の披露宴などでの需要を見込み、まずは年間2000セットの販売を目指している。	ユーブラン(鯖江市)

### 【その他の製造業】

高機能塗料開発の同社は、環境に優しい水性の耐火材を開発した。セ氏1200度の炎に触れても着火せず、化学物質がほとんど発生しない。大規模建築物や電池の配線など幅広い分野への採用を見込んでいる。	グローケミカル(鯖江市)
同社は、髪へのダメージや頭皮への刺激が少なく、アレルギーのリスクを大幅に低減するヘアカラー用の新たな染料を開発した。「グロス染料」と名付け、秋ごろの製品化を目指している。	日華化学(福井市)
一振りすれば水をはじける傘「ヌレンザ」をヒットさせた同社は、柄物で高級感を高めるなどバージョンアップした「次世代ヌレンザ」を開発した。無地しかなかったため、発売当初から柄物を求める声があった。	福井洋傘(福井市)
学校・医療、福祉施設向けの鋼製建具を製造販売する同社は、高強度で開口幅が広い自閉式上吊り引き戸のシャトルドアを開発した。2連式の製品は収納性に優れるが、これまでは高強度のものなかった。	山金工業(福井市)

### 【商業/サービス】

女性衣料専門店、アクシズファームを運営する同社は、無料の予約制個別接客サービスを通常型店舗に導入する。購入履歴やメールアンケートを基に、専門スタッフが一人ひとりに似合う洋服を事前にそろえて迎える。	アイジーイー(越前市)
冠婚葬祭の同社は、海外で結婚式を挙げたいカップルのニーズに応えようと、シンガポールでウェディング事業を始める。事前の準備や当日の段取りを全面的にサポートできる体制を整えている。	アスピカ(福井市)
ガラス商社の同社は、建材メーカーを対象に、通信販売サイトの制作を請け負う事業を始める。ガラスや鏡のネット販売を手掛けてきたノウハウを生かし、ガラス販売以外の新たな事業の柱に育てる狙い。	OOKABE GLASSホールディングス(福井市)
みそ製造販売の同社が本社隣に建設していた新店舗「みそ楽」が開店した。みそや加工食品、スイーツの販売、ランチを提供するカフェ、みそ造り体験等ができる複合施設。みそを軸にさまざまなサービスを提案する。	米五(福井市)
酒販店リカーワールド華を展開する同社は、店内で販売する食材を使った料理を提供する「グローサラント」を始めた。消費者の来店動機を高めた狙い。5年後をメドに、全体の半数の店舗で導入する方針。	華(福井市)

### 【情報産業】

通信インフラサービスを取り扱う同社は、定型の事務作業をソフトウェアに代行させる技術「ロボティック・プロセス・オートメーション」を導入した。社員の単純作業を減らし、高度な業務に携わる時間を増やす。	オールコネク(福井市)
男性用衣料インターネット販売の同社は、人工知能(AI)を使い、チャットアプリで服のコーディネート相談に応じるサービスを始めた。利用は無料で24時間対応し、おしゃれに悩む若者がいつでも気軽に相談できる。	ドラフト(あわら市)
県内のIT企業3社の経営者が代表を務める同団体は、小学校低学年向けのプログラミング教育用のコンピューター「IchigonQuest(イチゴンクエスト)」を開発した。英数字を入力しなくてもプログラミングが可能。遊び感覚で学べる。	プログラミング・クラブ・ネットワーク(福井市)